



朝夕の寒さが増すとともに、一日一日冬が近づいています。学園前の桜並木は今年もまた美しく色づき、鮮やかな彩りを見せてくれました。ふと路上に眼を落とすと、落ちた葉の一枚一枚にも実に様々な色の重なりがあり、そこにもまたひとつの完璧な世界があることに驚かされます。小さな葉の一枚一枚、それぞれに全く異なるひとつの美しい世界が、連なって一つの木の彩りとなり、その木々の立ち並ぶ姿がまたさらに大きな一つの色の移り変わりをを見せてくれているようです。それはまるで、そのままこの世界の在り様のようにだと、桜並木を眺めながら感じたりしています。

\*\*\*\*\*

## 【8年生劇「冬物語」を終えて】



お陰様で 11 月 22 日、23 日の 2 回にわたって「冬物語」（作シェイクスピア）を上演することができました。ご観劇下さった皆様、ご協力いただきました皆様、どうも有難うございました。子どもの作文に「すごい達成感」や「後悔なし」、「いい劇だった」といった言葉がありました。子どもたちは瞬間々々の持てる限りの力を燃焼することができたのだと思います。

いくつもの幸運に恵まれたと思います。まずは上の学年の先生方からの「上演はインフルエンザが流行る三学期を避けた方がよい。」というアドバイスでした。8 年生劇の話を 7 年生の冬にスタートしたことで、時間的な余裕を持つことができました。

2 月には候補作品のあらすじを共有し、各作品のよい点・面白い点を出し合いました。子どもたちには 8 年生劇への意志が感じられました。「どの作品を選んでもしっかり面白い劇をつくるんじゃないか。」という心境になり、(担任主導で決める) かし取りだけをして、選定は子どもたちに任せました。このようなスタートが切れたのも幸運だったと思います。

子どもたちは演劇の仕事をしている方から「下手でもいい役者がいるんだよ。」という言葉を知りました。その意味について子どもたちは「下手な役者をもっと頑張らなくっちゃといつも思っている。」や「表現が下手で無駄な動きがあったりしても、感情がよく伝わってくる。」「下手でもいっしょに働く人たちと仲良くコミ

ュニケーションできる。」など様々に書いてきたので感心しました。予備知識なしに各場面にふさわしい装置や照明を想像することもしました。そういう耕しのプロセスを踏めたのも幸運でした。

「稽古も楽しくやりたい。」と思いました。子どもどうしの褒め合いとアドバイスの交換を中心にして、教師の意見は付け足し程度に心がけました。時折拍手や笑いが混じる稽古の中で私は「ひとりひとりが立っている場所から日々自分のペースで劇に近づいて来れば上出来。上演の日はありのままの演技でいい。」と思いました。

子どもたちの照明アイデアを活かして下さった二村さん、クラスの熱をぐんとアップして下さったアンドリュー・ウォルパート先生、「(技術にではなく) 魔法にかかったように引き込まれた。」と言って下さったご見学の方、衣装の三品先生、大道具とメイクの長井先生、いろいろな方々に支えられ元気づけられました。

本番後アンケートでいただいた「生への勇気をもらいました。」や「難解なセリフをよくわかるように伝えてくれた。上手下手はない！」などたくさんのご感想。それらすべてに感謝しています。皆様どうも有難うございました。

(8 年生担任 森田 修)



## アドヴェントのつどいを終えて

アドヴェントのはじまりを待っていたかのように、冬の寒さがやってきた 12 月最初の日曜日。美しく温かに設えられた学園では、今年もたくさんのご来場者の方とともにアドヴェントのつどいを迎えることができました。

\*\*\*\*\*



少しずつ冬の寒さが増してきた校庭で食べる、暖かいシチューと手づくりパンは大好評。わずか 40 分で完売となりました。丁寧に星の形に型抜きされた人参は心も身体も温めてくれました。

お父さんチーム、更にパワーアップした来年の企画をいまから立てている(?) 様子です(笑)

お母さんカフェにワークショップ、高学年発表に手作り品販売、、、どこも満員御礼で学園全体が活気に満ち溢れていました。

12 月 2 日(日)、おかげさまで今年も、冬の一般公開イベント「おやこでむかえる アドヴェントのつどい」が、大盛況のうちに終わりました。

教職員と保護者がチーム一丸、ワクワクしながら準備を重ねて約 4 か月。

指折り数えて当日を心待ちにし、いよいよ開場 1 時間前。静かにゴングが響きました。教職員・保護者による「始まりの会」です。

「いらっしゃる全ての方に、温かな気持ちになって頂きたい」と、改めて皆の心を一つにして、手づくりの集いがスタートしました。

毎年、子どもたちに大人気の「ろうそくの森」。

森に見立てた暗い部屋にキャンドルが静かに灯り、溶けた蜜蝋の香りが漂う幻想的な空間。

子どもたちが部屋に入ると、まずは「森の番人」に扮した教員のお話しが始まります。

「まだ暑かったころ、ミツバチが一生懸命に集めた蜜蝋を、小人さんが分けてもらいました・・・」「小人さんが休んでいる間に、その蜜蝋でろうそくを作りましょう」

そしてお手本を一度見せれば、多くの説明は要りません。

どの子も見事にろうそくを作り、「森」から出てくる子供たちの顔は、なんと誇らしげに輝いています。

人形劇「かさじぞう」では、今年は初参加の演者が 3 人登場。

猛練習を重ねた成果も実り、急遽、予定よりも 1 公演追加するほどの人気となりました。

さらに、今年は、お父さんたちによる初の試み「羊飼いのシチュー」も登場！

今年のご来場者数は 224 名(霧が丘校舎)。昨年よりも更に人数が増えました。本当にありがたいことです。そして人数以上に嬉しかったのは、ご来場頂いた方々が、本当に温かい笑顔で帰っていかれたこと。私は道案内にも立たせて頂いたのですが、帰りに足を止めて「寒いのに大変ですね、頑張ってくださいね！」と声をかけて下さった方もいらっしました。

アドヴェントは、校外の方々にシュタイナー教育を知って頂く機会であると同時に、何よりも「楽しんで頂く」ことを第一に、全てのメンバーが力を合わせて創り上げたイベントです。

でも、当日に感じたのは、ご来場者の皆さんから、自分たちがたくさんエネルギーを頂いたということ。その方々の顔を思い出しながら、来年はもっと楽しんで頂こう！と心から思える、素晴らしい一日でした。

(4 年保護者 伊藤梓)



## 2 学期月例祭

12月15日(土)、緑公会堂にて、2018年度2学期の月例祭が行われました。

月例祭は、学内において1学期ごとに各学年の日ごろの学びを披露し、皆で子どもたちの成長を喜び、見守る会です。各学年の発表の最後には、7～9年生の合同音楽の発表、4年生以上による合唱、そして、全校児童生徒でこの時期ならではの歌「Was soll das bedeuten」を歌い、健やかなアドヴェントの願いとともに、月例祭が締めくくられました。

.....



1年生 リズム はじまり  
歌 「お空に光星はいくつあるの」  
詩 「あいうえおはよう朝が来た」



2年生 中国語の劇遊び「大きなカブ」



3年生 家づくりのライゲン  
オイリュトミー 「笛はどこか」  
ヘンデルのメヌエットと小品



4年生 歌 「から松の林を歩いて行こうよ」  
言葉と動き 「二十四節気」  
英語の歌 「My Paddles」  
「Land of the Silver Birch」  
英語の詩 「Tall Trees」



5年生 器楽合奏 「Gassenhauer」  
「Rundadinella」



6年生 詩 「落葉松」  
歌 「冬景色」



7年生 ジャグリング発表



8年生 オイリュトミー  
チャイコフスキー「人形のお葬式」  
シューマン「狩」  
ショパン「葬送行進曲」より など



9年生 英語の歌  
「Green Grow the Rushes-ho」  
「We Wish You A Merry Christmas」



合同音楽 7～9年生 「Tourdion」  
「El Noi de la Mare」



4年生以上 「One Little Candle」

# インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

## 2018 緑・芸術祭

### 《聖夜劇》 キリスト生誕劇

日時：12月23日(日) 13:30開演  
(13:00開場)

会場：緑公会堂(緑区総合庁舎内)

観劇料：おとな 900円(高校生以上)

こども 600円(年長児～中学生)

\*対象年齢 年長児以上

\*対象年齢に達していないお子さんは入場できませんので、ご注意ください。

\*観劇ご希望の方は、電話、FAX、またはメールにてお申し込みください。観劇料は当日受付でお支払いください。

## 校内見学会

ガイドツアー形式で学園内をご案内します。(正味1時間半)

日にち：2019年1月11日(金)

時間：15:30～

会場：霧が丘校舎

料金：無料(要予約)

お子様連れも可です。

※お子様の上履きをご持参ください。

## 茶話会

学園でお茶を飲みながら、教員・保護者と、シュタイナー教育について聞きたいことをざっくばらんに話しませんか？

日にち：2019年1月20日(日)

時間：10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

料金：無料(要予約)

詳細は学園WEBサイトでご確認ください。

## 連続講座

### 多面的シュタイナー考察⑦

#### 「惑星の人間と自然における働き」

日時：2019年2月10日(日) 13:00～15:00

会場：霧が丘校舎

参加費：2000円(NPO会員1500円)

講師：丹羽敏雄(津田塾大学名誉教授理学博士)

## 連続講座

### 多面的シュタイナー考察⑧

#### 「自然科学入門」

#### ～アブラナ科から見える植物の世界～

日時：2019年3月18日(月)

午前の部 10:00～12:30

午後の部 13:30～16:00

(午前・午後通しての内容になります。なるべく通してご参加ください。)

会場：霧が丘校舎

参加費：4500円(NPO会員4000円)

午前(午後)のみ2500円(NPO会員2000円)

講師：ピリオ・ドニー【ぼっこわば耕文舎】

ご支援ありがとうございます。  
大切に活用させていただきます。  
(順不同・敬称略)

◎ご寄付・・・8年生劇ご来場者有志、  
アドヴェントのつどいご来場者有志、  
アドヴェントのつどい十日市場校舎古着古本売上、  
加藤洋子

心より感謝申し上げます。

## ☆星の金貨より☆

公開講座や各種催し物の際には、どうぞお立ち寄りください。

お問い合わせ e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

ブログ <http://hosinokinka.blog100.fc2.com/>



横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第117号～

2018年12月20日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: [gakuen-info@yokohama-steiner.jp](mailto:gakuen-info@yokohama-steiner.jp)

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(せにきり店) 当座013702